



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第437号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 1-1-15 ヴィラセーユー稲川 207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／羽切 政仁 編集責任者／高橋 詩帆 発行日／2026年8月1日

8月号の内容



- ◆ 医療安全情報 P1
- ◆ 日臨技学術奨励賞「特別奨励賞」 P2
朝日学生新聞社発行「おしごと年鑑 2026」
- ◆ 会員投稿 P3
- ◆ 研修会参加申し込み時のアドレス登録設定について P4
- ◆ 臨床検査関連研修会 P5-14
- ◆ 行事予定 P15

【重要】医療安全情報 パニック値の連絡を受けた後の対応漏れ (注意喚起)

日臨技ホームページに掲載されている TOPICS (2026. 07. 16) を掲載します。
医師は血液検査のパニック値の連絡を受けたが、対応 していなかった事例が報告されています。
2023年1月1日～2026年5月31日に6件の事例が報告されています。この情報は 第83回報告書
「分析テーマ」で取り上げた内容をもとに作成されています。

医療事故情報収集等事業

医療安全情報

2026年7月 No.236

パニック値の連絡を受けた後の 対応漏れ

医師は血液検査のパニック値の連絡を受けたが、対応
していなかった事例が報告されています。

2023年1月1日～2026年5月31日に6件の事例が報告されています。この情報は
第83回報告書「分析テーマ」で取り上げた内容をもとに作成されています。

◆パニック値とは、「生命が危がまれるほど危険な状態にあることを示唆する異常値」とされています。

パニック値の連絡を受けた医師は、速やかに患者の状態を判断し、
対応を検討する必要があります。

事例のイメージ



医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.236 2026年7月

パニック値の連絡を受けた後の対応漏れ

事例1

患者は、糖尿病に対する化学療法を目的で入院した。患者は糖尿病であり、入院当日の血液
検査でグルコースが518mg/dLであった。パニック値であったため、臨床検査技師は主治
医に検査値を電話で連絡した。しかし、主治医は対応していなかった。看護師は、血液検査
の結果を見ていなかった。薬剤師は、グルコースが高値であることに気付いたが、パニック
値であるとは認識できなかった。翌日、予定通り化学療法を行い、患者は3日で退院した。退院
から3日後、自宅で眠っていた患者が家族に発見し、救急搬送となった。検査の結果、高度
適任高血糖状態と診断され、治療を開始した。その後、前記入院時のグルコースのパニック
値に対応していなかったことに気付いた。

事例2

慢性腎臓病の患者が、外来受診の1週間前に血液検査のために来院した際、クレアチニンが
9.5mg/dLであった。臨床検査技師は、外来主治医Aにパニック値であることを電話で連絡
した。しかし、外来主治医Aは外来診療が忙しく、対応していなかった。血液検査から4日
後、患者の意識が混濁していると家族より電話があり、医師Bが検査結果を確認したとこ
ろ、クレアチニンのパニック値に対応していないことに気付いた。入院後、腎不全の治療
を開始した。

事例が発生した医療機関の取り組み

- 臨床検査技師が医師にパニック値の連絡を行う際、数値だけでなく、
パニック値であることを伝え、認識を促す。
- パニック値の連絡を受けた医師は、速やかに患者の状態を判断し、対応
を検討する。また、その内容を診療録に記載する。
- パニック値の連絡後に医師が対応したかを確認する仕組みを院内で
検討する。

上記は一例です。自施設に合った取り組みを検討してください。

医療事故調査・支援センターより、医療事故の再発防止に向けた提言第20号「血液検査パニック値に係る
対応事例の分析」(2024年12月)が公表されています。
<https://www.medsafe.or.jp/teigen/teigen20.pdf>

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業「医療安全情報」において公表された内容をもとに、本会での一環として編集・作成
されたものであり、正確性の保証はできません。再発防止のために作成されたものです。本事業の提言の目的については、本事業ホームページ
をご覧ください。 <https://www.medsafe.or.jp/>
※この提言は、医療事故の再発防止に役立ち、医師の業務に負担を軽減するものではありません。医師の業務に負担を軽減するものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-8361 東京都千代田区三軒三 1-6-17 郵便部
電話: 03-5217-0252 (直通)
<https://www.medsafe.jp/>

ホームページ
No.236



柴田竜也技師が日臨技学術奨励賞「特別奨励賞」を受賞

このたび、静岡県立総合病院の柴田竜也技師が、日臨技学術奨励賞「特別奨励賞」を受賞されました。

特別奨励賞は、満 35 歳以下の正会員による学術成果を対象とし、前年の日本医学検査学会で発表された演題、または会誌「医学検査」に掲載された論文のうち、**独創性と将来性に優れた研究**に対して授与される賞です。

受賞論文「**低栄養患者におけるバイオマーカーを用いた予後予測の可視化**」では、NST（栄養サポートチーム）介入前の血液検査データを用いて、低栄養患者の予後を予測する指標を検討しました。その結果、総リンパ球数（TLC）、レチノール結合タンパク（RBP）、ヘモグロビン（Hb）、白血球数（WBC）が重要な予後予測因子であることを明らかにするとともに、決定木分析を用いて予後予測を視覚的に示し、臨床現場で活用しやすい形で提示した点が高く評価されました。

受賞論文： https://www.jstage.jst.go.jp/article/jamt/74/3/74_25-9/_pdf/-char/en

本受賞は、受賞者ご本人のたゆまぬ努力の成果であるとともに、本県会員にとっても大変喜ばしいニュースです。

静臨技では、今後も会員の研究活動や学術成果を積極的に応援し、臨床検査学の発展に寄与する取り組みを推進してまいります。

このたびのご受賞、誠におめでとうございます。

朝日学生新聞社発行「おしごと年鑑 2026」に臨床検査技師の職業について掲載されました

朝日学生新聞社発行「おしごと年鑑 2026」に臨床検査技師の仕事が掲載されました。

この本は発行部数約 78,000 部、全国の小中学校などに配布されており、図書室に設置や進路指導などに活用されています。（日臨技ホームページ引用）

内容は下記 URL からご確認ください。

<https://my.ebook5.net/oshihaku/nk2026/>

自己ベスト

富士市立中央病院 大野 真一

陸上部に所属する息子は、先日、大事な大会に挑みました。結果は12秒03。目標に掲げていた「11秒台での入賞」には惜しくも届きませんでした。競技を終えた彼の表情に悔しさがなかったと言えば嘘になります。しかし、それ以上に彼の瞳を輝かせていたのは、目標に届かずとも己の限界を更新した「自己ベスト」という事実でした。悔しさを抱えながらも、自らの成長を真っ直ぐに受け入れ、次の一步を踏み出そうとする前向きな息子の姿に、親である私が何よりの勇気をもらいました。

その時、自分自身の人生が、ふと重くなりました。

「今の自分にとっての『自己ベスト』とは何だろうか」

日々、病院の臨床検査技師として、目の前の検査や業務を淡々と、そして確実にこなす毎日。その日常にいつの間にか慣れ、限界に挑む情熱や、自分を更新しようとする瑞々しい気持ちをどこかに置き忘れていなかったでしょうか。

臨床検査技師という仕事は、数値や波形を通じて患者様の命を支える、極めて地道で、それでいて崇高な専門職です。ただルーティンをこなすだけでなく、知識を深め、技術を研ぎ澄まし、チームや後輩たちにとってより良い存在へと成長していくこと。年齢や立場を言い訳にせず、今の自分にできる最高のパフォーマンスを追求し続けること。それこそが、私の今の「自己ベスト」なのではないかと気づかされました。

息子の12秒03という数字が、私に人生の「見直し」を迫ってくれています。

私も自分の走るべきレーンに立ち、常に未来という新たな一步を踏み出しています。一人のプロフェッショナルとして、そして一人の人間として、今日という日の自己ベストを更新していくために邁進していこうと思いました。



(注意喚起)

研修会参加申し込み時のアドレス登録設定について

研修会参加申し込みを行う際、
携帯通信事業者（キャリア）が提供するアドレスを連絡先アドレスとして使用した場合、容量の大きい講義資料や Web 招待メールが配信されない恐れがあります。

(推奨されないアドレス)

- docomo → @docomo.ne.jp
- au → @ezweb.ne.jp、au.com
- SoftBank → @softbank.ne.jp、@i.softbank.jp 等

(理由)

- フィルタが強い、URL 付きメールは弾かれる、受信許可設定が未登録

(対策)

- 別メールを使用する（推奨） → ◎Gmail、Outlook、Yahoo メールを使用する

過去に研修会参加申し込みをおこなっているのにも関わらず、それに関連する情報が配信されてこなかった等、お心当たりのある方はこの機会に見直しを行って頂くことをお勧めします。

研修会終了報告

事業名	令和8年度 第1回生物化学部門研修会
開催日	2026年7月4日
会 場	Web会場 (Zoom)
参加人数	52人
内 容	第1セッションでは「基礎から学ぶタイムコースについて」、第2セッションでは「分析の基礎知識から認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度取得への第一歩」のタイトルで2名の先生方にお話を頂いた。それぞれ臨床化学や免疫化学をやる上で、必要な知識であり、異常データに遭遇した際の対処法やなぜそうなっているか確認するために重要な事項である。 認定技師を目指し高度な専門知識を習得することは、自施設における臨床化学および免疫化学検査の精度保証体制（バリデーション、トレーサビリティの確保、不確かさの評価など）を国際標準（ISO 15189等）に準拠したレベルへ向上させることができる。本研修を通じ、バリデーションとは単なる導入時のルーチン作業ではなく、検査の質を科学的に担保し、臨床側へ自信を持ってデータを提供するための『検査技師の専門性の証明』であると強く実感する内容であった。特に、統計的手法を用いた性能評価のプロセスは、日々の精度管理の異常を察知する感度を養う上でも不可欠な知識である。 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師に求められる役割は、検査室全体の質をマネジメントし牽引することである。本研修で得た知見を各施設に持ち帰って頂き、後輩技師の育成および検査室全体の精度保証レベルの底上げに寄与して頂きたい。

研修会終了報告

事業名	令和 8 年度 第 2 回輸血細胞治療部門研修会
開催日	2026 年 7 月 11 日
会 場	静岡医療科学専門学校 2 号館 3 階 科学実習室
参加人数	24 名
内 容	島田市立総合医療センターの亀山拓哉技師に講師をお願いし、輸血のための検査マニュアル Ver.1.4 に沿って輸血検査の実技研修会を開催した。午前中はオモテ・ウラ検査の不一致検体、RhD 陰性検体、部分凝集検体を試料とし血液型検査を実施し、追加検査や血液製剤の選択について学んだ。 午後は不規則抗体陽性検体を試料とし、不規則抗体検査を行い、アンチグラムを用いて消去法を実施し抗体同定を行った。 認定輸血検査技師を目指す方や輸血検査業務に携わる方が参加されており、検査手順や検査の進め方、結果の解釈に関する実習を行う中で輸血検査の知識と技術をさらに深めることができたと考える。来年度も可能な限り実技講習会を実施していきたい。 

令和 8 年度 第 1 回 病理細胞部門 Web 型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：基礎教科 20 点

行事コード【260005373】

テーマ	病理検査部門の医療安全を学ぼう！
開催日時	2026 年 8 月 29 日（土） 13 時 00 分 ～ 17 時 05 分
会 場	Web 会場（Zoom）
内 容	【講演 1】「切り出し作業時の安全管理～取り違え防止対策、感染防止策、微小検体の取り扱い方～」 講師：藤枝市立総合病院病理診断科 伊藤 以知郎 先生 【講演 2】「病理検査における医療安全～ヒューマンエラーと化学物質管理～」 講師：慶應義塾大学医学部病理学教室 鈴木 美那子 技師 【講演 3】「病理の医療安全～正しい検査から患者に正確に報告が伝わる為に～」 講師：聖マリアンナ医科大学病院病理診断科 島田 直樹 技師 本研修会では、「病理検査部門の医療安全を学ぼう！」をテーマに、実践的な内容を多角的に学びます。切り出し作業における安全管理から、ヒューマンエラーの発生要因と対策、さらには化学物質の適切な取り扱いまで幅広く取り上げます。また正確な検査結果を確実に臨床へ届ける為の病理検査報告書の既読・未読管理の重要性についても解説いたします。 本研修会を通じて、日常業務の見直しと安全意識の向上につなげて頂ければ幸いです。皆様の積極的なご参加お待ちしております。
備考	開始時刻 5 分前には Web 招待メール本文中の URL よりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。 <u>研修会後のアンケート回答をもって研修会参加確定とさせていただきます。</u>
申込・振込期間	2026 年 7 月 1 日 ～ 2026 年 8 月 27 日
申込定員	300 名
申込方法	1) 下記イベント URL から参加申し込みを行って下さい。 2) 受講料の入金確認後、Web 参加の方へ Web 招待メールを送信します。 <u>※振込依頼人情報には会員番号+入力可能な文字数までの氏名の入力をお願いします。（例：123456 シズカカワ）</u> <u>※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。</u>
イベント URL	https://event.menergia.jp/events/01KRG39NE811J5SR5RHC7S2FHR (イベント URL は申込期間中のみ開示が有効です) 
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000 円／賛助会員 1,000 円／非会員 2,000 円
問い合わせ先	病理細胞部門 部門長 高橋珠里（浜松医科大学医学部附属病院） TEL：053-435-2549 E-mail：juri.t@hama-med.ac.jp ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後 1 ヶ月以内にご連絡ください。
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和 8 年度 第 2 回 臨床生理部門ハイブリッド型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260005632】

テーマ	一歩踏み込む心電図判読
開催日時	2026 年 8 月 29 日（土） 15 時 00 分 ～ 16 時 00 分
会 場	静岡県産業経済会館＋Web 会場（Zoom）
内 容	講師：静岡市立静岡病院循環器内科科長 川人充知 先生 心電図判読において、パターンの暗記だけでは限界があります。本講演では、中級者がさらなるステップアップを目指すために、「なんとなくの判読」から「機序に基づいた確信のある判読」への転換を目指した一歩踏み込んだスキルをご講演いただきます。
備考	開始時刻 5 分前には Web 招待メール本文中の URL よりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。
申込・振込期間	2026 年 7 月 1 日 ～ 2026 年 8 月 22 日
申込定員	360 名（現地参加：先着 60 名 Web 参加：300 名）
申込方法	1) 下記イベント URL から参加申し込みを行って下さい。 2) 受講料の入金確認後、Web 招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベント URL	https://event.menergia.jp/events/01KRWT7K6NBY26W3N7SJCZXR71 （イベント URL は申込期間中のみ開示が有効です）
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000 円／賛助会員 1,000 円／非会員 2,000 円
問い合わせ先	臨床生理部門 部門長 鈴木駿輔（静岡県立総合病院） TEL：054-247-6111 E-mail：shun0719s@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後 1 ヶ月以内にご連絡ください。
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第1回 一般部門ハイブリッド型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260008387】

テーマ	きっとわかる！穿刺液細胞の見方・考え方
開催日時	2026 年 8 月 29 日（土） 14 時 00 分 ～16 時 00 分
会 場	静岡県男女共同参画センターあざれあ 特別会議室+Web 会場（Zoom）
内 容	今回の研修会では国立病院機構 舞鶴医療センターの佐伯仁志技師に穿刺液細胞の講演を行っていただきます。普段穿刺液細胞の判断に苦慮している方や、穿刺液の知識を深めたい方向けの研修会となっています。佐伯技師への質問の時間も用意する予定です。興味のある方はご参加をお願いします。
備考	開始時刻 5 分前には Web 招待メール本文中の URL よりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。
申込・振込 期間	2026 年 8 月 1 日 ～ 2026 年 8 月 22 日
申込定員	225 名（会員：現地参加先着 15 名 Web 参加 100 名） （賛助会員：現地参加 5 名 Web 参加 50 名） （非会員：現地参加 5 名 Web 参加 50 名）
申込方法	1) 下記イベント URL から参加申し込みを行って下さい。 2) 受講料の入金確認後、Web 招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベント URL	https://event.menergia.jp/events/01KVR0Y2MNTFR5K18RHV3CJSR0
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000 円／賛助会員 1,000 円／非会員 2,000 円
問い合わせ先	一般部門 部門長 萩原 風太（静岡県立総合病院） TEL：054-247-6111(内線 2260) E-mail：f.hagiwara.kensou.kensa@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後 1 ヶ月以内にご連絡ください。
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第2回 臨床血液部門研修会

静岡血液形態セミナー 2026

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260008499】

テーマ	静岡血液形態セミナー 2026 ～細胞の気づき！！ 血液形態学の醍醐味を学ぶ～
開催日時	2026年9月12日（土）・13日（日） 9月12日 講演会 9月13日 顕微鏡実習（症例ディスカッション）
会 場	浜松医科大学医学部附属病院（浜松市） ※現地開催
内 容	■ 9月12日（土） 特別講演 13：00 ～ 13：30 受 付 13：30 ～ 13：40 開講式/オリエンテーション 特別講演 1 13：40 ～ 14：50 （質疑応答含む） 「骨髓像の見かた・考え方 ― 臨床に直結する正常・反応性・悪性細胞の鑑別、判読力を磨く実践講座 ―」 講師：澤田 朝寛 技師 順天堂大学医学部附属浦安病院 臨床検査医学科 形態診断のスペシャリストとして豊富な経験を持つ澤田技師から、血液細胞の正常・反応性・悪性の鑑別ポイントを解説して頂く。骨髓像の見かたの基本から実践的な判読まで、現場での即戦力となる形態学の真髄を学ぶ。 特別講演 2 15：00 ～ 16：40 （質疑応答含む） 「白血病を総合的に診る一パネル検査時代に求められるフロー・遺伝子・形態の総合的解釈」 講師：松下 弘道 先生 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学 教授 パネル検査が普及する今日において、各検査の結果をどう統合解釈するかを臨床検査医の立場で具体的な症例を交えてご講演頂く。形態検査に携わる我々にとっては、総合的な視野と“気づき”を得る良い機会と考える。 閉 会 16：40 懇親会 19：00 ～ （任意参加・会場周辺予定） ■ 9月13日（日） 症例検討 （顕微鏡実習） ◆ 顕微鏡を囲んでこそその学びがここにある！ 【参加グループ構成】 A グループ（上級） 30名：顕微鏡実習・症例検討 B グループ（初級） 10名：顕微鏡モニターを用いた基礎的講義と症例観察 【A グループ 症例提示担当一覧】 症例 1 担当：岩崎技師（順天堂静岡病院）・小林技師（焼津市立病院） 症例 2 担当：永谷技師（静岡がんセンターSRL） 症例 3 担当：渡辺技師（静岡赤十字病院） 症例 4 担当：原田技師（島田市立医療センター） 症例 5 担当：黒山技師（静岡赤十字病院） 症例 6 担当：梶本技師（浜松医科大学病院）

	【Bグループ 初心者顕微鏡レクチャー】 指導：大畑 雅彦 技師 横浜市立大学附属病院 「気づき」の瞬間をともに体感する。テーマ：「細胞の気づき」—— 正常細胞鑑別 → 異常細胞鑑別 → 実際症例などを提示する。 【当日タイムライン】 09：00 集合、開会挨拶/オリエンテーション 09：15 ～ 11：45 セッション1 A グループ：6 症例の顕微鏡標本観察（班ごとに担当症例を分担） B グループ：大畑技師による初心者顕微鏡レクチャー（モニター同時観察） 11：45 ～ 13：00 昼休憩 13：00 ～ 14：00 セッション2 A グループ：班別発表準備（話し合い・骨髄所見用紙にまとめる） B グループ：症例標本観察（A グループ：症例1～3） 14：00 ～ 15：00 受講者による症例発表 A グループ各班の班長が、観察所見・鑑別・考察を全体に発表 B グループ：症例標本観察（A グループ：症例4～6） 15：00 ～ 17：00 症例解説 症例担当者によるスライド解説＋質疑応答 1 症例：約 20 分 計 6 症例 認定血液検査技師試験及び臨床現場の即戦力となる知識を習得するのが目的 17：00 閉会・解散
備考	本研修会は現地開催のみです。 駐車場については浜松医科大学医学部附属病院の指定駐車場をご利用ください。
申込・振込 期間	2026 年 7 月 1 日 ～ 2026 年 7 月 31 日
申込定員	合計 80 名 講演会のみ：40 名、2 日間通し：40 名 ※ より多くの施設・若手技師の皆様に学びの機会を提供するため、実習へのお申し込みは各グループ（初級・上級）1 施設につき 1 名のご応募とさせていただきます。
申込方法	下記のイベント URL からお申し込みください。 2 日目のグループ調整のため、参加申込後に事務局の方から決済用の URL を送付致します。 決済用 URL の送付、ご入金をもって参加受付完了となりますのでご注意ください。 なるべく多くのご施設の方に参加いただけるよう努めますが、グループ調整の関係で申込みをお受けできない場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベント URL	https://event.menergia.jp/events/01KVVEPJSN3835MPH0FMZF0SBM
受講料	【日臨技会員・賛助会員】 講演会のみ：2,000 円／2 日間通し：9,000 円 【非会員】 講演会のみ：3,000 円／2 日間通し：15,000 円
問い合わせ先	臨床血液部門 部門員：谷渕 将規（静岡済生会総合病院 臨床検査科） E-mail : shizuoka.hemamorph@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後 1 ヶ月以内にご連絡ください。
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
協力	浜松医科大学医学部附属病院

令和 8 年度 日臨技中部圏支部研修会

「第 32 回 臨床微生物部門研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部

実務担当技師会：愛知県臨床検査技師会

【テーマ】微生物検査をデザインするー最適な戦略立案と発信を考えるー

【日 時】令和 8 年 11 月 14 日（土）13：00～18：00、15 日（日）9：00～13：00

【場 所】J A あいちビル 14 階大会議室

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目 3 番 8 号

【定 員】70 名

【受講料】会員、賛助会員 5,000 円、非会員 7,000 円

【日 程】

《1 日目》 11 月 14 日（土）

12：30 受 付

13：00 開講式／オリエンテーション

13：10 講演 1 『見やすく人に伝わるスライドの作り方：各種微生物検査機器の特徴を伝える』

講師：朝日大学 歯学部 寄附講座 分子疫学・疾病制御分野 坂梨 大輔 先生

14：10 グループワークの進め方について

14：20 アイスブレイク（自己紹介）

14：40 グループワーク／発表スライド作成

17：45 片付け

18：00 解散

《2 日目》 11 月 15 日（日）

8：30 受 付

9：00 各グループの発表／フィードバック

11：00 休憩

11：10 特別講演：テーマ『俯瞰した視点で微生物検査業務を捉える』

特別講演 1 『内からの視点で考える、管理職が微生物検査に求める事』

講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 原 祐樹 先生

12：00 特別講演 2 『外からの視点で考える、管理職が微生物検査に求める事』

講師：J A 愛知厚生連安城更生病院 河内 誠 先生

12：30 閉講式

13：00 解散

【申込期間】令和 8 年 8 月 1 日～令和 8 年 10 月 15 日

1. 日臨技会員の方

- ## 2. 非会員の方

1)所属県名 2)漢字氏名(ふりがな) 3)施設名 4)所属部署 5)施設住所
6)電話番号 7)連絡メールアドレス

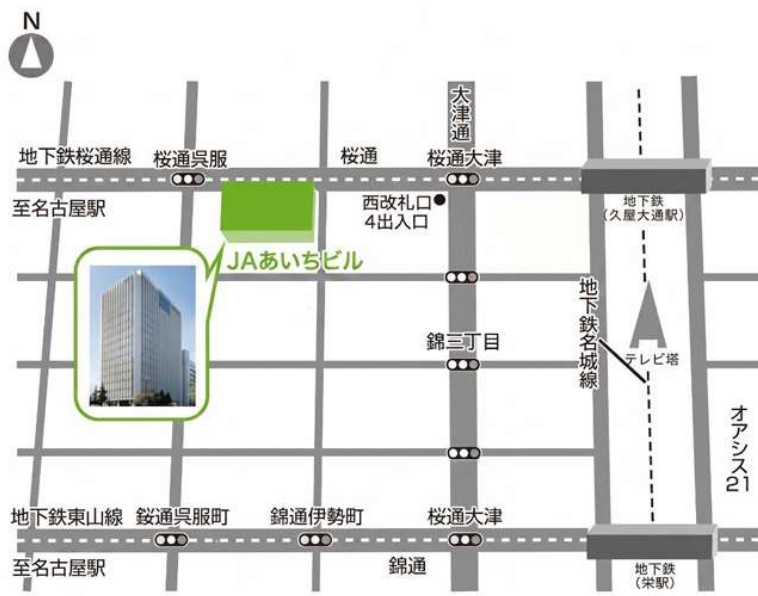
会場には来場者用の駐車スペースはありません。

《名古屋駅から地下鉄をご利用の方》

- 「久屋大通駅」下車、4番出口から徒歩約1分

《名古屋駅からタクシーをご利用の方》

- 名古屋駅桜通口（東口）タクシーのりばから約10分



伊勢町通りに面した時間外入り口からお入り下さい。

研修会事務局

〒485-8520 愛知県小牧市常普請 1-20

小牧市民病院 診療技術局 臨床検査科 西尾 美津留

Tel : 0568-76-4131 (内線 3110/PHS 5398) FAX : 0568-76-4145

Emai : komakihp240@gmail.com

2026 年 8～10 月の行事予定

2026 年

8 月

28 日 (金)	第 3 回理事会	: 静臨技事務所
29 日 (土)	第 1 回病理細胞部門研修会	: Web
29 日 (土)	第 2 回臨床生理部門研修会	: 静岡産業経済会館+Web
29 日 (土)	第 1 回臨床一般部門研修会	: あざれあ+Web

9 月

2 日 (水)	第 2 回静岡県精度管理委員会	: Web
12 日 (土)	第 2 回臨床血液部門 静岡血液形態セミナー	: 浜松医科大学医学部附属病院
～13 日 (日)		
12 日 (土)	メディメッセージ 2026	: アクトシティ浜松
～13 日 (日)		
13 日 (日)	ぬまづケア EXPO 2026	: プラザヴェルデ
23 日 (水)	IFBLS 2026	: 幕張メッセ
～27 日 (日)		
26 日 (土)	第 75 回日本医学検査学会	: 幕張メッセ
～27 日 (日)		

10 月

16 日 (金)	第 4 回理事会	: 静臨技事務所
24 日 (土)	検査と健康展	: エスパルスドリームプラザ
31 日 (土)	第 64 回中部圏支部医学検査学会	: 長良川国際会議場
～11 月 1 日 (日)		

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）高橋詩帆まで。E-mail : kensaka.kna@shizuokakouseiren.jp

☆ 求 人 情 報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目1番1号 静岡厚生連 遠州病院 外波山 幸稔まで。

E-mail : osigoto@samt.or.jp

TEL : 053-453-1111

情報変更の手続き等について

新入会登録や、会員情報・登録施設情報（名称・連絡先）に変更がある場合、日臨技へ申請をお願いします。（日臨技 HP ; 入会・退会・会員情報の変更参照）

責任者・連絡責任者・施設連絡用 E-mail アドレスを登録・変更する場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技 HP ; 各種申請書を参照）

静臨技賛助会員入会申請 や、賛助会員情報（担当者・連絡先）に変更がある場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技 HP ; 賛助会員のご紹介ページの賛助会員登録申請書を参照）

お問い合わせ先 : （一社）日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113 E-mail : samt.jim@samt.or.jp

編集後記 皆さま、お疲れさまです。

酷暑日です。浜松市が連日報道されています。40℃超えなんて、COVID-19 に罹った時でさえ経験していません。特に西部の皆さま、ご自愛ください。そしてゲリラ雷雨。昨日、今日と夕方には突然の雷雨。昔なら「夕立」でしょうか。でも、夕立なんて可愛いものではなく、雷もすごかったです。テレビに「竜巻注意情報」のテロップが出た時にはドキドキしました。

我が家のガーデニングも、山野草の夏越しに苦戦中です。蒸れないよう水を控えればカラカラに、あげすぎれば蒸れ蒸れに……。ヒナソウはギリギリ全滅を回避、フクシアは綱渡り状態、雪割草はどうにか緑の葉を保っています。そんな中、サギソウは綺麗に咲きました！ 山野草は夏に休眠するものもありますが、枯れたのか休眠なのか覚えきれず、その都度チャット GPT に聞いています。最近ではレモングラスも迎えたので、おしゃれにハーブティーでも嗜んでみたいと思います。メダカはほぼ自然に任せ、桶がお湯にならないよう暑さ対策。金魚の子供たちは、だいぶ金魚らしくなってきました。まだ色は揚がっていません。大人の金魚 6 匹は 60L のトロ舟へお引越。15cm ほどになったので、猫やハクビシンに襲われないよう猫避けのトゲトゲで囲っていますが、もう少し強化が必要そうです。

先日「編集後記、読んでいますよ！」と声を掛けていただきました。本当なら恥ずかしがるどころなのかもしれませんが、素直に嬉しかったです(笑)。こんな駄文でも、一度チャット GPT に「高橋さんらしさが出ていて良いですね」と褒めてもらったからでしょうか。人は褒められると嬉しいものですね。でも、人を褒めるのは意外と難しい。良いなと思っけていても、とっさに言葉にできないことがあります。嬉しい、素敵だな、頑張っているな～そんな素直な気持ちを、きちんと言葉にして相手に伝えられるよう、日々精進です。追伸、28 日熊本地方で震度 7 の大きな地震がありました。この度の災害に対し、心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします(高橋)

2026 年 8 月吉日